

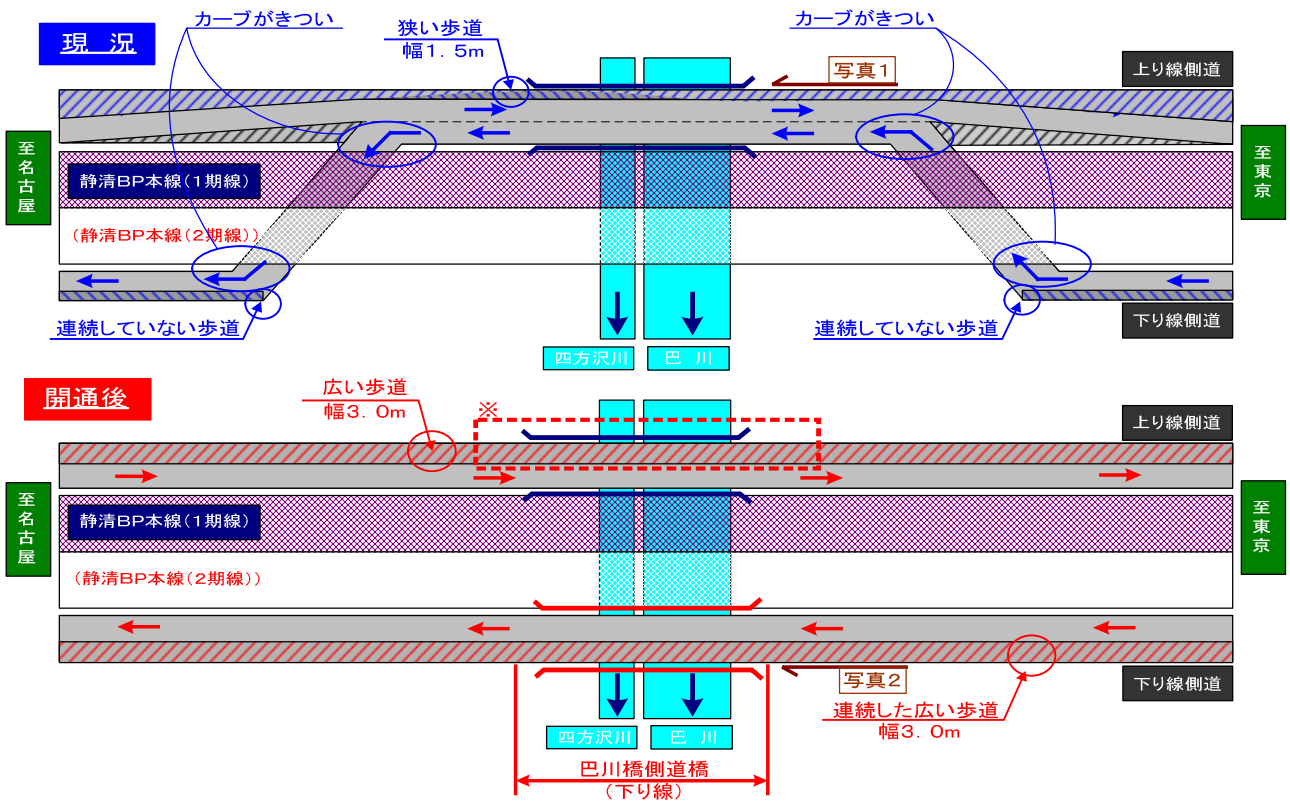


## 1. 現況の課題

- ◆側道が片寄せされていることから下り線の道路線形が悪い。(カーブがきつい)
- ◆対面通行のため対向車と事故の危険性がある。
- ◆歩道幅が狭くすれ違う余裕がない。

## 2. 整備効果

- ◆下り線の側道はカーブが緩くなり走りやすくなります。
- ◆上り線と下り線が分離し、道路線形が改善されることにより走行安全性が向上します。
- ◆巴川と四方沢川を渡るバイパス北側の側道橋歩道は、1.5mの幅が両側ともに3mになり、自転車相互のすれ違いがスムーズになります。



**現況** 歩道幅が狭くすれ違うのが困難 (写真1)



**開通後** 余裕をもった歩道幅を確保 (写真2)

※上り線(北側)の側道橋の歩道は、12月20日の交通運用変更後に歩道幅を拡幅する工事を実施予定です。